



はんなん  
Hannan City Council

# 市議会だより

2026年  
令和8年  
5月号  
NO.140

発行：阪南市議会 編集：議会広報編集委員会 〒599-0292 大阪府阪南市尾崎町35-1 TEL 072-471-5680 (直通)



▲2026山中溪桜祭りの様子



令和8年度当初予算等を可決…………… 2

一般質問…………… 7



泉南地域水道センター現地視察ほか…………… 12



はんなん市議会だより  
Webサイト

# 第1回定例会

## 令和8年度当初予算等を可決

本市の魅力創出と発信をつなげ、交流人口の拡大と地域消費の喚起、まちのにぎわいの創出に取り組みます

令和8年第1回定例会を3月3日から23日までの21日間の会期で開催しました。本定例会では、令和8年度当初予算5件をはじめ、条例制定4件、条例改正8件、条例廃止1件、補正予算4件等を全会一致で可決・承認。当初予算2件、条例改正1件、補正予算1件を賛成多数で可決しました。

### 令和8年度当初予算

#### 〔一般会計〕

令和8年度は、持続可能な行財政運営の確立に向けて、引き続き「行財政構造改革プラン改訂版」の重点取組方針に示す取組を計画的に推進します。

歳入歳出は、それぞれ217億3300万円とし、前年度当初予算と比較して2・2%、4億7700万円の増額となっております。

増額の主な要因は、昨今の物価高騰及び社会保障関連経費の増加に加え、公共施設の老朽化対策費が増大したことによるものです。

本議案は、予算常任委員会に付託しました。

なお、委員会における主な質疑・答弁・意見・討論は次のとおりです。



**委員** 地域ポイント事業費として、1億62万6000円が計上されているが、詳細について伺う。

**企画課長** 地域ポイントの運用に係る管理システムやアプリ利用料として、年額157万8000円、また、加盟店舗の新たなアプリのインストール費用として、5万5000円を計上している。

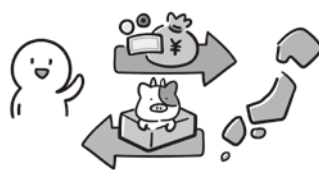
**委員** 地域ポイント事業のポイントバックキャンペーンについて、今年度の開催予定を伺う。

**企画課長** 夏から秋にかけて、地域振興券事業の実施を予定している中、ポイントバックキャンペーンの時期が重複し、店舗側の負担が大きくなるように、この時期を避け、4月から5月、また、10月から12月頃の2回、ポイントバックキャンペーンを実施したいと考えている。

**委員** 特産品開発及び生産力強化支援事業の4000万円が計上されているが、内容について伺う。

**企画課長** ふるさと応援寄付金が1億円納税されることを想定し、そのうち、返礼品を含めた事務費等の5000万円、自主歳入として1000万円を除く4000万円について、事業者に対する補助金分として計上したものである。

### ふるさと納税



**委員** 特産品開発及び生産力強化支援事業において新たな特産品はあるのか。

**まちの活力創造課長代理** 新たな

特産品として、昨年12月に牛タンとハンバーグを出品するとともに、現在、本市で漁獲量の多いさわらを活用し、事業者が生ハムを製造していただいております。今月中には本市のふるさと納税サイトにアップする予定になっています。

**委員** 本市の観光コンテンツ醸成の取組について詳しく伺いたい。

**まちの活力創造課長** 本市は海と山に近く、自然環境に恵まれているというだけでなく、関西国際空港にも近いことから、インバウンドの受入が十分可能であると考えている。

このような中、阪南市が長年、環境保全に取り組んできた結果、自然共生サイトや30 by 30（サーティ・バイ・サーティ）（※）の取組の中で、広く認められつつある。

今後は、これらを観光に結びつけ、市の魅力だけでなく海・山の魅力をコンテンツとして作っていきたいと考えている。

（※）30 by 30：2030年までに地球の陸地と海洋の30パーセント以上を健全な生態系として効果的に保全する目標。



▲旭石山からの市の風景

**委員** 乳児等のための支援給付費について、伺う。

**こども政策課長** こども誰でも通園制度にかかる予算であり、給付費の158万4000円は実施施設に支払う費用となっている。0歳児、1歳児、2歳児それぞれ4人ずつを想定し、積算するとともに、歳入面では、4分の3の国補助金、8分の1の府補助金を計上している。



**委員** 私立保育所の保育士確保が難しいと聞くがどうか。

**こども政策課長** 保育士不足については、公立、私立含めて非常に厳しい状況であることから、前年度に引き続き、私立保育施設保育士等就職支援補助金として、500万円を予算計上している。

**委員** 教育費の工事請負費、1億871万3000円が計上されているが内容を伺う。

**学校教育課長** 桃の木台小学校の低学年トイレと玄関に近い児童用トイレの改修工事費である。

**委員** 桃の木台小学校のトイレ改修工事を実施することであるが、温水洗浄便座の設置について、どのように考えているのか。

**教育総務課長** 児童トイレの各ブースには、コンセントの設置を予定しているが、温水洗浄便座については、配管の変更が生じることから、今回は工事の対象としていない。

**委員** ライドシェアの実証実験を行う予定であると聞いていたが、現状について、お伺いする。

**都市整備部理事** これまで共助型ライドシェアとして実施する事業スキームを検討してきたが、今後は、市の実情を鑑み、財政負担を抑えつつ、まちづくりや福祉的な側面から実施していく事業スキームを描いていく。

**委員** 高齢者の移動支援は、コミュニティバスの問題もあり緊急の課題である。共助型ライドシェアは小規模でもいいので、まず実証実験を行い、需要や市民の声を聞いて、早々に実現できるように要望する。



**委員** がん患者の療養生活の質の向上を図るとともに、就労、社会参加等を支援するため、医療用ウィッグ等の購入費として、20万円が計上されているが、その内容について伺う。

**健康増進課長代理** 本事業は、新事業であり、がん医療用ウィッグの購入にあたり、1万円の助成金を20人分計上している。



討 論

【原案に反対の討論】

サラダホールや小学校の改修事業など、改修を急ぐものには、大きな財源として市債の発行もやむを得ないかとは思いますが、市債の総額は令和7年度よりも2億9810万円増額となっている。

一方で、特産品開発及び生産力強化支援事業補助金など、新しい財源創出のための新規事業や、デジタルトランスフォーメーション化事業には、多額の予算が積み込まれている。財政非常事態宣言解除後も依然として続く緊縮財政と新たな債務負担増加など、市民生活の対応策があまり感じられない予算編成に疑問があり反対する。

【原案に賛成の討論】

本予算は、市民の生命、財産、暮らし、安全、安心を守ることを最優先に編成されており、物価高騰への対応や市民生活の下支えを図るうえで極めて現実的かつ必要な内容であると評価する。

また、子育て支援や地域経済の活性化など、市民生活に直結する分野に重点化されており、単なる支出ではなく、将来を見据えた投資として位置付けられるものである。加えて、国の交付金も有効に活用しながら、持続可能な行

財政運営の観点からも適切な判断であると評価する。今後、各事業の効果検証と見直しを徹底し、市民に対する説明責任を果たされることを求め、本案に賛成する。

◎賛成多数で可決



【国民健康保険特別会計】

令和8年度の予算は、歳入歳出それぞれ、67億8447万円で、前年度当初予算と比較して2・6%、1億7478万円の増額となっています。増額の主な要因は、医療費の増加等に伴うものです。議員から反対の討論が行われました。

討 論

【原案に反対の討論】

子ども・子育て支援金は、大きな議

論を呼んでいる問題の多い内容で、実質的な保険料の負担増となる。そもそも、病气やけがの治療のための医療保険制度に、直接の医療給付とは関係性のないものをくつつけることは、社会保障制度の理念を逸脱していると言わざるを得ない。ただでさえ保険料払うのが大変な高齢者、低所得者にとつては、今後、年度を追って増額となるのも、一層の苦難といえる。したがって、この予算案に反対する。

◎賛成多数で可決



補 正 予 算

【令和7年度一般会計補正予算】

本補正の主なものは、人事院勧告による給与改定及び退職手当の増額に伴う泉州南消防組合負担金の増額等で、1億1272万円追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ233億4885万

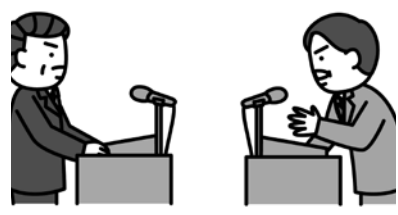
円とするものです。議員から反対の討論が行われました。

討 論

【原案に反対の討論】

地域振興券発行事業3億4500万円は、子どもから高齢者まで申請の手続きなく、全市民に配布するものであり、長引く物価高騰による負担増を軽減する事業である。一方、地域ポイント事業「はなポ」は、スマホを持たない人は対象外となり、利用できる市民や使える店やサービスが限られ、事業費を増額しても偏りは解消されない。むしろ、この事業費分を地域振興券発行事業に回せば、1人1000円分の上積みができるのではないか。予算の編成及び使い方に対し反対する。

◎賛成多数で可決



# 条例改正

## 【国民健康保険条例の一部改正】

子ども・子育て支援法等の一部改正に伴い、令和8年4月から国民健康保険料と併せて、子ども・子育て支援金を拠出する必要があります。従来からの所要の改正を行うものです。従来の医療分・後期高齢者支援金分・介護納付金分に加えて、新たに子ども・子育て支援金分が保険料に追加されます。

議員から反対・賛成の討論が行われました。

## 討論

### 【原案に反対の討論】

保険料の高い国民健康保険加入者は、家計をやりくりして保険料を納めておられるが、それでも支払えなくて滞納になっている加入者も一定数おられる。今回の条例改正は、子ども・子育て支援金制度の開始に伴うものとなっており、児童手当の拡充、育児休業給付の引上げ、こども誰でも通園制度などの財源の一部とするため、子ども・子育て支援納付金を保険料に乗せして徴収しようというものである。

子育て世帯への支援は重要であると認識はしているが、そもそも性格の異なる施策であるにもかかわらず、財源

を徴収するために、医療保険制度に乗せ徴収するのは愚策と言うべきである。ただでさえ高すぎる国民健康保険料に乗せすることで、保険料を支払えない家庭が増えることが懸念される。安心して医療を受けられないような状況をつくらないためにも反対する。

### 【原案に賛成の討論】

本改正は、阪南市が独自に保険料を引き上げるのではなく、国の法律である子ども・子育て支援法に基づく制度への対応であり、全国の市町村に同様の対応が求められている。市として、国の法令に従い適切に条例を整備することは、行政運営の基本といえる。さらに、子育て世帯への特別な配慮として、18歳未満の子どもがいる世帯の負担を軽減する配慮がなされている。

以上のとおり、本改正は、国の制度に基づく必要な法令整備であり、低所得世帯や子育て世帯への軽減措置も適切に盛り込まれていることから子ども・子育て支援法に基づく制度の趣旨を踏まえ、必要であると判断し賛成する。

## ◎賛成多数で可決

## 【教育長の任命について】

令和8年3月31日付けで、現教育長の中野泰宏氏が任期満了により退任します。

その後任として、本市教育委員会事務局 生涯学習部副理事 向井説行氏を任命いたしたく、議会の同意を求めます。

なお、任期につきましては、令和8年4月1日から令和11年3月31日までの3年間となります。

## 質疑応答

### 議員

本市の教育の最大の強みは、歴代の教育長や教育委員会が築き上げてきた学校教育協議会や地域教育協議会、そしてスクールサポーターや登下校の見守りなど、地域と学校の深いきずなど実績があると認識している。

国が推進するコミュニティスクールの導入は、1つの方策ではあるが制度導入を優先するあまり、本市の宝である子どもたちを支えてきた地域の心や繋がりが損なわれることがあってはならない。現教育長が大切にしてこられた子どもたちの小さなサインに気づき、寄り添うという教育哲学を、次期教育長は引き継ぎどのように発展させていくのか。また地域の方々が長年積み上げてきた功績を、性急な制度変更が現

場や地域に招くりスクを、市長自身どのように認識されているのかを伺う。

### 市長

これまでの地域との関わりや地域協議会を含めて、学校の歴史なども大切にしながら、令和8年度から取り組むコミュニティスクールをはじめとして、何よりも、子どもの育つ環境を中心に、子育てしやすい環境を重視しながら、子育てするなら阪南市と、選択される教育環境を作っていきたいと考えている。向井氏の抱負にあるように、子どもが自立、尊重、創造を大切にしながら、そして個性と自主性を育み、伸ばす教育改革が必要だと思っているのでともにタッグを組んで進んでいきたい。

## ◎全会一致で同意



# 第 1 回定例会にて可決・承認した議案等一覧

- ・専決処分事項の承認を求めることについて〔専決第 1 号〕令和 7 年度阪南市一般会計補正予算（第 8 号）
- ・専決処分事項の承認を求めることについて〔専決第 2 号〕令和 7 年度阪南市一般会計補正予算（第 9 号）
- ・阪南市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- ・阪南市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて
- ・阪南市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
- ・財産の取得について
- ・権利の放棄について
- ・市道路線認定及び廃止について
- ・阪南市特産品開発及び生産力強化支援事業者選定委員会条例制定について
- ・児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う子ども家庭庁関係内閣府令の整備等に関する内閣府令等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について
- ・阪南市心とこころをつなぐ手話言語条例制定について
- ・阪南市健康づくり推進協議会条例制定について
- ・阪南市行政手続条例の一部を改正する条例制定について
- ・（仮称）阪南市子どもの権利に関する条例検討委員会条例を廃止する条例制定について
- ・特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について

- ・阪南市手数料徴収条例の一部を改正する条例制定について
- ・阪南市ふるさとまちづくり応援寄附条例の一部を改正する条例制定について
- ・阪南市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について
- ・わんぱく王国条例の一部を改正する条例制定について
- ・わんぱく王国駐車場条例の一部を改正する条例制定について
- ・阪南市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について
- ・令和 7 年度阪南市一般会計補正予算（第 10 号）
- ・令和 7 年度阪南市国民健康保険特別会計補正予算（第 4 号）
- ・令和 7 年度阪南市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 4 号）
- ・令和 7 年度阪南市下水道事業会計補正予算（第 3 号）
- ・令和 7 年度阪南市病院事業会計補正予算（第 1 号）
- ・令和 8 年度阪南市一般会計予算
- ・令和 8 年度阪南市国民健康保険特別会計予算
- ・令和 8 年度阪南市財産区特別会計予算
- ・令和 8 年度阪南市介護保険特別会計予算
- ・令和 8 年度阪南市後期高齢者医療特別会計予算
- ・令和 8 年度阪南市下水道事業会計予算
- ・令和 8 年度阪南市病院事業会計予算
- ・阪南市教育長の任命につき同意を求めることについて
- ・阪南市介護保険条例の一部を改正する条例制定について

賛否が分かれた議案	大 和 子	百 々 麻 希	杉 本 哲 也	本 郷 真 也	岩 室 敏 和	山 本 光 男	石 橋 史 年	中 村 秀 人	見 本 栄 次	山 本 守	二 神 勝	福 田 雅 之	畑 中 謙	岡 や よ い	結 果
阪南市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	可決
令和 7 年度阪南市一般会計補正予算（第 10 号）	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	可決
令和 8 年度阪南市一般会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	可決
令和 8 年度阪南市国民健康保険特別会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	可決

○：賛成 ×：反対

# 第1回 定例会

# 一般質問

2人の議員が代表質問を  
7人の議員が個人質問を行いました。  
その主な内容を掲載します。



## 行財政改革について

(質問者)

大阪維新の会 (百々 麻希・本郷 真也) 杉本 哲也



**問** 厳しい財政状況を乗り越えていくために、市民の皆様は何を協力してもらうのか？市長の見解として、具体的な協力内容の回答をお願いします。

市民の皆様への具体的な協力内容の回答を  
お願いする  
ビジョンを明確に示し、ご理解とご協力を  
得ていく(市長)

**答** 本市の行財政構造改革の取組をしっかりと示し、子育て拠点施設の再構築、小中学校の再編整備に向けた取組、社会教育施設や集会施設の複合化や集約化、また、市民の貴重な財産となる再編整備後の未利用財産等の有効活用などについて、ビジョンを明確に示し、ご理解とご協力を得ていく。限られた財源を事業の選択と集中を行いながら、総合計画やデジタル田園都市構想総合戦略に掲げる事業の実現に取り組む。



## 自転車の交通違反「青切符(交通反則通告制度)」の導入について

(質問者)

公明党 (二神 勝・山本 守) 福田 雅之



**問** 交通事故の根絶に向け、交通安全に関する啓発を実施するとの事であるが、本年4月1日から自転車にも交通反則通告制度が適用される事となった。日々の自転車利用をより安心して快適にするために正しい知識の情報発信をお願いしたいと思うが、啓発活動の取組と自転車の交通反則通告書、いわゆる青切符の導入についてお聞きする。

正しい知識の情報発信をお願いしたい  
改正内容の周知徹底が行政の責務と  
考えている(市民部長)

**答** 対象は16歳以上で、信号無視や一時不停止、携帯電話を使用しながらの運転など、約100種類以上の違反行為が対象となる見込みとなっている。改正内容の周知徹底が行政の責務と考えており、従来までのチラシの配架などに加えて、どのような行為が違反かなぜ危険かを丁寧に伝える。今後も、泉南警察署や関係機関と緊密に連携を図りながら、ハード、ソフト両面から交通安全対策を推進する。



未利用地の有効利活用による  
自主財源の確保

阪南市民の会

いわむろ としかず  
岩室 敏和



**問** 本市は今、全国の自治体のなかで消滅可能性自治体のひとつになっている。この厳しい現実のなかで、同自治体を脱却するには一日も早く自主財源を確保することである。本市には約16000坪の未利用地と114の公共施設がある。これらの資産を残すもの、売却するもの、賃貸するもの、収益事業を行うものに分類し、企業との連携等により有効利活用して、自主財源を確保することを提案するが、どうか。

**自主財源を確保することを提案する**  
**民間活力を前提とした利活用や市民協働による活用を検討する(市長)**

**答** 消滅可能性自治体に分類されたことを踏まえ、改めて本市が直面する地域活力の低下をはじめ課題を受け止める必要があると認識している。とりわけ未利用地や未利用施設の対象となる財産については、有効活用を図るための現状を把握した上で、一定期間事業が見込まれない施設については、民間活力を前提とした利活用や市民協働による活用を検討し、利用計画がない施設については、歳入確保に努める。



▲利活用が期待される旧東鳥取小学校

重点支援地方交付金について

市民によりそう会

いしばし ふみとし  
石橋 史年



**問** 市民一人一人が支援の意図や効果を正しく理解できる環境を整えることで、本事業の信頼性と効果がさらに高まると考えるので、市民に分かりやすく透明性の高い情報提供に加え、説明資料の工夫や理解促進のための広報活動の強化をお願いする。また、事業実施後の効果検証の方法及び指標、並びに検証結果を今後の物価高対策、地域経済対策へどのように生かしていくのか、お伺いする。

**検証結果を今後の物価高対策、地域経済対策へどのように生かしていくのか**  
**より効果の高い支援手法の選択、市民の利便性向上の改善、見直しにつなげる(未来創生部長)**

**答** 広報紙等において資料などを分かりやすく示し、市民の皆様の理解が深まるよう、丁寧な周知と説明に努める。事業実施後は、利用者数、年齢層別等の定量データに加え、市民、事業者からの意見など定性的な情報も踏まえ、効果検証を行う。検証結果を次年度以降の物価高対策などの制度設計に反映させ、より効果の高い支援手法の選択、事務負担やコストの最適化、市民の利便性向上の改善、見直しにつなげる。



議会  
日誌

1月

- 8日 広報編集委員会
- 14・15日 (仮称) 泉南地域水道センター事務所棟見学会
- 21日 議員連絡会
- 24日 南大阪創生首長会議設立会議
- 28日 総務事業常任委員会
- 29日 厚生文教常任委員会

2月

- 3日 大阪広域水道企業団議会議員全員協議会
- 12日 全国市議会議長会 建設運輸委員会(東京)
- 13日 南部市議会議長会総会
- 19日 大阪府水道企業団議員全員協議会・定例会
- 特別地方交付税確保に関する要望活動

3月

- 27日 泉州南消防組合議長会運営委員会・議員全員協議会
- 25日 泉州南消防組合議長会定例会
- 24日 大阪府後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 2日 大阪府市議会議長会総会
- 3日 本会議(1日目)
- 4日 本会議(2日目)
- 5日 本会議(3日目)
- 9日 総務事業常任委員会
- 10日 厚生文教常任委員会
- 11日 予算常任委員会
- 12日 予算常任委員会
- 17日 議会運営委員会
- 23日 本会議(最終日)・議員連絡会
- 25日 泉南清掃事務組合議会定例会

部活動の地域展開について

大阪維新の会

もも 麻希



問 少子化の影響で中学校の部活動が、縮小や消失している現実を踏まえ、国が地域展開を推進している方針に沿って、本市でも未来への投資として取組の強化をお願いする。子どもたちの多様な経験が得られる場を守るため、指導者の確保や安全な環境整備を進めるとともにクラウドファンディングを行うことなども取り入れて、地域と学校が協力して持続可能な体制を築いていくよう要望する。

答 今年度、教育委員会が実施したクラウドファンディングは3事業あり、そのうち、目標金額100万円に対し、370万円を超える寄附金を全国から頂いた事業もある。多くの寄附を頂いた要因としては、教育委員会で実施している海洋教育の取組やデジタル人材グローバル人材の育成など教育環境づくりを広くアピールしたことなどが考えられる。今後、クラブの地域展開も含め、必要に応じて実施を検討する。



クラウドファンディングも取り入れて、持続可能な体制を築いていくよう要望する。クラブの地域展開も含め、必要に応じて実施を検討する。(生涯学習部長)



市民の移動支援（コミバスの拡充・デマンド交通ほか）について

無会派

おおき 和子



問 地域公共交通としてのコミュニティバスにはいまだに多くの要望が出されているが、それらを実現するためには台数を増やす以外にはないのではないか。また、実証実験までしたデマンド交通の実現の可能性は。さらに、地域住民組織による住民の移動支援事業への補助や、ハンディのある人たちの移動を助ける支援（障害者へのタクシー券の復活・シニアカー等の充電スタンド設置など）についてはいかがか。

答 市民ニーズや利用状況を把握し、持続可能なコミュニティバスのあり方について検討する。デマンド交通は、現状、費用対効果の観点から導入は極めて厳しい。住民主体型サービスの実施団体を支援するため、事業に係る経費を活動実績に応じて補助金として交付している。地域内の移動支援は、引き続き、公共交通施策全体のなかで判断していく。充電ステーションの整備は、今後の検討課題と考えている。



増便・逆コース等多様な要望実現のため、コミュニティバスの台数を増やせないか。持続可能なコミュニティバスのあり方について検討する。(都市整備部長)



▲コミュニティバス

その他の質問事項

- 難聴者への支援策について
○ 災害対策（避難所運営）について
○ 第2次子育て拠点再構築方針について

その他の質問事項

- 窓口業務の短縮について
○ 健康づくりについて



「定例会及び委員会」のライブ配信をしています!

市議会のウェブサイトでは、ライブ配信の他、次回定例会のご案内や一般質問通告書、議決結果表、議会だより、定例会の「録画映像」等を掲載しています。

また、「会議録検索システム」を市議会ウェブサイトに掲載しています。これにより、本会議での内容を記録した「会議録」、委員会での内容を記録した「委員会録」をインターネットを通じてご覧いただけるようになっています。

市議会ウェブサイトには、阪南市ホームページ下段にある「阪南市議会」のボタンをクリックしていただくとアクセスできます。多くのアクセスをお待ちしています。



### 現場から考える阪南市の 持続可能なまちづくりについて

進成会

おか 岡 やよい



**問** 財政非常事態宣言解除を受けた今こそ「市民の命」を守る投資へ転換すべきである。現場を歩けば、期待よりも「私たちの暮らしは本当に良くなるのか」という切実な不安がある。猛暑の教育現場と避難所環境改善のため、設置0%の学校体育館へのエアコン設置や、旧東鳥取小学校跡地の防災拠点化を強く要求する。国との連携や「稼ぐ力」を財源とする、具体的かつ現実的な「実行」への決断を市長に迫る。

**答** 国や大阪府との連携を含めて、しっかりと前向きに検討した上で、小中学校のエアコンを早期に実現できるように、がんばっていく。ご提案の防災公園につきましても全ての可能性はゼロではないという状況で、阪南市の将来が持続可能な形で、わくわくする形で子どもたちに胸を張ってパトンタッチするためには、いかに投資が必要か選択と集中をどうしていくのか、しっかりと精査し、ビジョンを示す。

学校体育館へのエアコン設置を強く要求する  
早期に実現できるように、がんばっていく (市長)



#### その他の質問事項

- 総合防災訓練の統括と「逃げ遅れゼロ」を実現する地域防災力の強化について
- 財政非常事態宣言解除後の市民サービスと、DX推進について
- 学校再編に伴う教育環境と子どもまんなか施策の充実について
- 地域資源を活かした「稼ぐ力」の最大化と地域経済の活性化について

### 消防団、自主防災組織について

大阪維新の会

ほんごう しんや 本郷 真也



**問** 昨今懸念されている南海トラフ地震についての本市の被害想定では山間部における土砂崩れ、路面の崩落による孤立リスクが考えられる。緊急消防援助隊の存在はあるものの、すぐにかけることが困難なケースもあり、各自自治体の消防団、そして自主防災組織の存在が極めて重要になる。青少年消防団の結成や各団体の人員確保に向けた取組が必要と考えるが、本市の見解はいかがか。

**答** 広報の充実や活動内容の見える化を進めるとともに、地域等との連携を図り、消防団活動に触れる機会の拡大に取り組んでいる。また、子どもたちが消防団や防災を身近に感じられるよう、小学校などにおいて消防団と触れ合う機会を設けるなど、継続的な啓発、体験の場づくりを進めている。今後も子どもたちが防災を自分事として捉えられる機会を継続して設け、将来の担い手につながる土壌づくりを進める。

青少年消防団の結成や人員確保に向けた取組が必要と考える  
将来の担い手につながる土壌づくりを進める (危機管理監)



#### その他の質問事項

- 森林環境譲与税について
- アスマイルについて



## 政務活動費の交付実績を、 阪南市議会ウェブサイトにて公開しています。

議員ごとの政務活動費の交付状況及びその用途、領収書等について、現在、直近令和6年度分までを公開しています。  
市議会ウェブサイト、「政務活動費について」よりご覧ください。



## あなたも議会を傍聴しませんか

市議会には定例会（3月・6月・9月・12月）、臨時会（必要の都度）と委員会があります。傍聴には難しい手続きは不要です。当日、議会事務局にて受付（住所、氏名等記入）していただくだけで自由に傍聴できます。議場の定員は34名、委員会の同室傍聴は先着順4名（受付開始時間は8時45分から）です。

また、定例会は委員会室や市役所ロビーでテレビ中継、委員会は委員会室でテレビ中継も行っています。どうぞお気軽にお越しください。

傍聴された方を対象にアンケートを実施しておりますので、ご協力をお願いいたします。

なお、3月定例会の傍聴者数は、延べ30人でした。



会議録は、図書館・公民館・情報公開コーナー、または市議会ウェブサイトで閲覧できます。

なお、3月定例会の会議録は5月末頃に完成予定です。

次の定例会は、  
**6月2日(火)から**  
の予定です。

詳しくは議会事務局まで

**☎471-5680(直通)**

## 安全・安心なまちづくりについて



公明党

ふたがみ かつ勝 二神

**問** 阪南市総合防災訓練について、市民団体からの強い要望により引き続き今年度も実施されることに感謝する。今年度は、昨年度以上の効果があり、今後も、恒久的な防災訓練を行うべきだと考える。総合防災訓練の実施結果を伺うとともに今後の方向性についてお聞かせ願う。またこの度、初のペット避難訓練が実施されたが、1施設のみの実施であった。同行避難、同伴避難も含めて本市の考えを伺う。

**答** 訓練は回数を重ねるほど、課題や改善点が浮き彫りになること、継続実施することが重要と考える。同伴避難は、ペットと飼い主が同一空間で生活することとなるため、アレルギーをお持ちの方や動物の苦手な方への配慮、衛生管理、鳴き声等の対応など整理すべき課題があった。まずは同行避難の体制を整備した上で、総合的に勘案しながら、同伴避難の可能性についても調査研究を進める。

総合防災訓練の実施結果を伺う  
訓練は回数を重ねるほど、課題や改善点が浮き彫りになる。継続実施が重要（危機管理監）

A



## 請願・陳情の出し方

請願書、陳情書の書き方、留意事項は次のとおりです。

- ① 請願（陳情）書は、その件名、要旨及び理由を簡単に、わかりやすく書いてください。
- ② 提出年月日、提出者の住所、氏名を書いてください。
- ③ 請願書は1人以上の紹介議員が必要で、表紙に署名または記名してください。
- ④ 紹介議員がないときは、陳情書としてください。
- ⑤ 道路等は簡単な略図・図面等を付けてください。

### 《記入例》

(表紙) ※(請願の場合) 紹介議員 氏名  ○○に関する請願(陳情)  請願(陳情)者 住所 氏名	(内容) ○○に関する請願(陳情)  (要旨)  (理由)  令和 年 月 日 阪南市議会議長(氏名)様
--	--

※請願・陳情に記載された個人情報（住所、氏名等）については、会議録等へ掲載されるほか、行政文書として情報公開の対象となりますので、ご了承ください。

泉南地域水道センター  
現地視察

日時…令和8年1月14日(木)  
1月15日(金)  
場所…現泉南水道センター

【視察内容】

令和8年4月から阪南および田尻・泉南・岬の4水道センターを統合し、現泉南水道センターが新たな地域水道センターの事務所となります。同センターの更新工事が完了したため、現地を視察してきました。なお、現在の阪南・田尻・岬水道センターは、出張所となります。



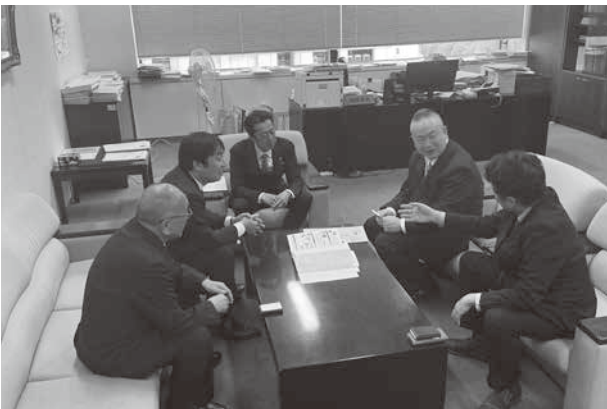
▲新地域水道センターの視察の様子

特別地方交付税に係る  
要望活動

日時…令和8年2月19日(木)  
場所…総務省

【要望内容】

本市は、子育て施策、地域コミュニティの自立支援、地域経済の活性化等に加えて、自然環境を生かした海洋教育やアマモ場の保全・再生活動、バーチャル・リアリティ技術を活用した防災訓練・防災教育等を推進している一方、今年度本市において養殖牡蠣の大量死が発生し、関連事業者等をはじめ地域経済に大きな打撃となっております。そこで、構造的に自主財源が乏しく、地方交付税への依存度が高い本市の行財政運営の実情を訴えるべく、貴重な一般財源である特別地方交付税に係る要望活動を実施しました。



総務省への特交要望の様子



編集後記

新緑の候、木々の若葉が目眩しい季節となりました。市民の皆さまには、日頃より温かいご支援を賜り心より感謝申し上げます。今定例会では、財政非常事態宣言の解除を受け、これまでの「守り」から未来を創る「投資」への転換を問う熱い議論が交わされました。特に、猛暑で限界を迎えている教育現場や避難所環境を改善するための「体育館へのエアコン設置」は、市民の命に直結する喫緊の課題です。「検討」を「実行」へ。皆さまの厚い共感を力に変え、阪南市の新しい芽吹きが確かな実りとなるように、これからも現場の声を届け続けます。

(岡 やよい)

議会広報

編集委員会委員

- 委員長 石橋 史年
- 副委員長 山本 光男
- 委員 本郷 真也
- 委員 福田 雅之
- 委員 岡 やよい
- オブザーバー
- 議長 山本 守讓
- 副議長 畑中

「ご意見」をください

本誌が、皆さんにとってより身近なものになりますよう、内容やレイアウトについてのご提言等なんでも結構ですので、ご意見・ご感想がございましたら、左記までお寄せください。

〒599-10292

阪南市尾崎町35番地の1

議会広報編集委員会

TEL 471-15680(直)

e-mail ghkai-syomu@city.hannan.lg.jp